



第78回柏葉祭開催に向けて

柏葉祭まで、1ヶ月を切りました。
いよいよ準備も大詰めです。



芸術の授業も、
作品作りです。



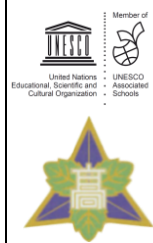
各クラス、展示物づくり、大道具作り、大忙しです。力を合わせてがんばります！



美術部、茶道部などの文科系の部も、準備にラストスパートです。



育友会役員の皆さん、バザーの準備、遅くまでありがとうございます。
毎年、生徒達、とても楽しみにしています。



地域課題解決型キャリア教育「吉高地域キラメキプロジェクト」

YCK PROJECT REPORT

第4号

地域をフィールドに多様な人とのつながりが価値ある学びをつくる

YCKプロジェクト 課外活動プログラム 「②京都大学ワークショップ」を実施しました！

「京大ワークショップ」

- ◆日 時：フィールドワーク…令和8年5月23日(土)
オンライン…5月18日(月)、25日(月)、6月22日(月)
- ◆場 所：西野製材所→柳木材→Fab Cafe Hida
→古川町高野(岡田さんの森)
- ◆参加者：1年生(3名)、2年生(3名)



京都大学は地域協働活動を実践しており、飛騨市をフィールドに様々な研究に取り組んでいます。このプログラムはその活動の一環として大学生や研究者と交流し、地元の企業や飛騨の里山を訪れ、体験的に学びながら持続可能性について考えることを目的としています。全4回のプログラムで、フィールドワークの前後に研究室とオンラインによる学習会やグループディスカッションを行いました。参加した生徒達は「飛騨の自然環境に興味がある」、「昨年参加して飛騨の良さや課題について知ることができ、学年を越えた交流の楽しさを感じた」、「SDGsや環境問題に興味があり、自分にできることを見つけたい」という動機で参加を決めたようです。

オンラインでは地域資源や自然環境の持続可能性について学び、グループディスカッションを通して現状の課題や解決策について意見を交わしました。フィールドワーク当日は、午前は古川町内の西野製材様と柳木材様を訪問し、飛騨の森林の特徴や木材の利用状況、用途などについてお話をうかがいました。また、実際に切り出した木材に触れ、香りや手触りを体験することができました。午後は岡田さんの森を訪れ、実際に多様な植物や樹木に触れながら土壌の状態を観察し、森の環境について学びました。岡田さんの森はしっかりと手入れがされており、歩いてみると光が入る明るい里山で、様々な植物や昆虫、動物が共存していました。今回活動を通して生徒たちは普段何気なく目にしている飛騨の自然について理解を深めるとともに、実際に木材に触れ、香りを感じ、多くの方々との対話を通して飛騨の自然の魅力と課題を見つめ直しました。飛騨の豊かな自然と持続可能な社会について考える貴重な学びの機会となりました。



生徒のワークシートから、感想・ふりかえりの一部を抜粋しました。

飛騨の豊かな自然と大学の研究に触れた！

1年生	2年生	2年生
・京大ワークショップに参加し、大学生や研究者の方々のお話を聞くことで、持続可能性について考えることができました。フィールドワークでは飛騨の自然のすばらしさや木の種類によって加工の仕方や使い道が違ふことを学び、今まで知らなかったことに触れることができました。とてもよい経験になりました。	・今年は「森」がテーマのプログラムで、飛騨に住んでいるのに知らないことばかりだと気付きました。森は新しい価値を生み出すことができ、捨てる場所がほとんどない資源だということが分かりました。身近にあるからこそ、良さに気付いていなかったのはもったいないと思いました。知ることが「持続可能性」の一歩になると感じました。	・飛騨の森林や樹木について学ぶことができた。木を切った時に出る端材や木の皮が、牛の寝床や肥料として活用されていることを知り、実際に断熱材として活用されている様子を見て学ぶことができた。京都大学の方々が持続可能性について考え、その学びを大学での研究や発表につなげていることも学ぶことができた。

ご意見・ご感想などは、吉城高校・キャリア推進部までお問い合わせください。

☎ 0577-73-4555



11 住み続けられるまちづくりを



17 パートナシップで目標を達成しよう



← 課外活動プログラムの一覧はこちらから